

地球環境と私たちの暮らし

環境を考える



昨今よく耳にする
想定外の集中豪雨や災害級の
暑さなど、地球環境の変化に伴い我々の
生活環境にも大きな影響が出てきています。
京都議定書に続くパリ協定の脱炭素化に向け、2018年12月
にはポーランドで国連気候変動枠組み条約第24回締約国会議(COP24)
が開催されるなど、持続可能な社会を築くには世界規模で環境問題に対して
具体的な取り組みを行う必要があります。そこで今回は、「環境を考える」をメイン
テーマとし、我々の生活を取り巻く「環境」について、さまざまな面から着目して
みたいと思います。

【主催】 京都大学

【講演時間】 各回 18時30分～20時

参加費無料

第1回
5月23日(木)
諸富 徹
地球環境学学
教授

**再エネで地球環境に貢献し、
地域を豊かにする**
—全国各地の試みから—

いま全国各地で、地域新電力会社を立ち
上げ、再生可能エネルギーで発電・売電
した収益で地域課題を解決する新しい仕
組みづくりが拡がりつつあります。うまくい
けば温室効果ガスを削減し、地域を豊かに
できますが、課題もたくさんあります。い
ま何が起きているのか、代表例を紹介し
つつ、環境に貢献しながら地域を豊かに
するとはどういうことが、考えてみます。

第2回
5月29日(水)
田中 周平
地球環境学学
准教授

**マイクロプラスチックによる
水環境汚染と私たちの生活**

プラスチックは1835年にフランスで発明
され、私たちの身の回りの生活を支えてく
れています。ところが、軽くて耐久性が強い
結果、環境中に放出されたプラスチックは
いたるところで残存します。一部は生物
に取り込まれ、私たちに戻ってきている
のかもしれませんが。今回はマイクロプラ
スチックに関する研究事例を分かりやすく
紹介したいと思います。

第3回
6月6日(木)
勝見 武
地球環境学学
教授

**きれいな土と汚れた土を
分けるもの**

廃棄物や有害物質による土壌汚染に
は、適切な対処が求められます。また、国
土強靱化等のため進められる社会基盤
整備では、掘り出された土に自然の重金
属等が含まれていることがあります。この
講演では、これらの土への適切な対応と
はどのようなものか考えてみます。

第4回
6月13日(木)
島田 洋子
工学研究科
准教授

環境の汚染とリスク

私たちの暮らしが快適で便利になる一方
で、今、私たち人間が使う化学物質が大気
や水や土を汚染し、人間の健康や生態系
にリスクが生じています。環境中に放出
された化学物質がどのように環境を汚染し、
どのようなリスクが生じて、私たちの健康や
暮らしに影響を及ぼすのかを、PM2.5など
による大気汚染や有害化学物質による汚
染などの例を紹介しながら考えてみます。



開催場所 「京都アカデミアフォーラム」in 丸の内

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

問い合わせ先 京都大学総務部渉外課 京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟3階
TEL) 075-753-2233 (月～金 9:00～17:00) FAX) 075-753-2286 E-mail) event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
URL) http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course/kyoudainochi

申し込み方法 [お申し込みはWEBまたはFAXで]

京都大学ホームページからWEBでお申し込みいただくか、申込用紙をダウンロードしFAXでお申し込み
ください。各回定員120名、締め切りは5月6日(月)です。全4回のシリーズですが、1回のみお申し込みいた
だくことも可能です。なお、申し込み多数の場合は、抽選となります。詳しくはホームページをご覧ください。



！ スマートフォン・携帯電話・タブレット端末から上記QRコードを読み取り、京都大学のホームページにアクセスください。